

様式第3号（第12条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和3年度第1回吉川市環境審議会
開 催 日 時	令和3年10月22日（金）午前10時から10時50分まで
開 催 場 所	吉川市役所 2階 201会議室
出 席 委 員 氏 名	大泉日出男委員、浜本光紹委員、秋元智子委員、斉藤龍司委員 柏瀬浩史委員、松井美枝子委員、山崎隆委員、金田桂子委員
欠 席 委 員 氏 名	
担 当 課 職 員 職 氏 名	環境課長 安室晴紀、環境課環境保全係長 三城肇 環境課環境保全係主任 小林洵
会 議 次 第 及 び 会 議 の 公 開 又 は 非 公 開 の 別	1 開会 2 議題 （1）吉川市の環境について（報告） （2）その他 3 閉会 すべて公開
非 公 開 の 理 由	なし
傍 聴 者 の 数	0名
会 議 資 料 の 名 称	次第 資料 吉川市の環境
会 議 録 の 作 成 方 法	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会 議 録 確 認 指 定 者	大泉委員、松井委員
そ の 他 の 必 要 事 項	なし

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）

<p>1 開 会 事務局</p>	<p>————— 《開 会》 ————— ただ今より、令和3年度第1回吉川市環境審議会を開会する。</p>
	<p>————— 《定足数確認(会議の成立)》 ————— 吉川市環境保全条例第77条の規定により、定足数である過半数に達しているため、本日の審議会が成立していることを確認した。</p> <p>————— 《会議の公開・非公開の決定》 ————— 本日の会議は全て公開で行う。</p>
<p>浜本会長</p>	<p>————— 《会長挨拶》 ————— すっかり季節も変わり、また、緊急事態宣言も解除され、世の中の様々な制約が緩和されてきている。しかしながら、感染拡大第6波への懸念も残っていることから、私を含めてリモートでの参加の委員もいる。また、会議時間の短縮を図り、感染症対策に配慮した進行としたい。</p>
<p>2 議 題 浜本会長</p>	<p>————— 《議 題》 ————— (1) 吉川市の環境について（報告） (2) その他</p>
	<p>————— 《署名委員の指名》 ————— 会議録の署名委員に、大泉委員と松井委員の二人を指名。</p>
	<p>————— 《議事審議》 ————— (1) 吉川市の環境について（報告）</p>
<p>事務局</p>	<p>【事務局資料説明】</p>
<p>山崎委員</p>	<p>質疑 クビアカツヤカミキリの防除について、さくら通りの桜にネットが巻かれているものと巻かれていないものがあるがどのような違いがあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>既に樹木内にいる幼虫やさなぎが成虫になった際に、ネット内にとどめさせ、これ以上の被害の拡大を防止する意図でネットを巻いている。ネットについては特に被害の大きい木にのみ巻いている。</p>
<p>柏瀬副会長</p>	<p>小河川水質調査結果の上第二大場川について、令和2年度で大きく改</p>

	<p>善されているが要因は何か。</p>
事務局	<p>数値が改善している要因について特定できていないが、測定業者からは、水位や天候などの影響により数字が変動することがあると聞いている。測定は年4回実施しており、お示ししている数値は年平均のものである。</p>
柏瀬副会長	<p>二酸化窒素の測定箇所及び自動車騒音常時監視測定箇所について、新たな道路の開通などによりまちの形態が変化してきていると考えられるが、測定箇所の変更の考えはあるのか。</p>
事務局	<p>二酸化窒素濃度については、定点観測で経過を見ることが重要と考えているので、既存で測定している場所を取りやめることはないが、ご指摘のとおり新たな幹線道路の開通などによりまちの形態も変わってきているので測定地点については適宜検討する。</p> <p>また、自動車騒音常時監視測定箇所については、国が実施する交通センサス調査区間内としているため、測定箇所の変更をする予定はない。</p>
柏瀬副会長	<p>自動車騒音の測定箇所について、交通センサスの調査区間以外に市独自で新たに開通した道路周辺を測定する考えはあるか。</p>
事務局	<p>昨年度市に寄せられた騒音に関する相談のうち、自動車騒音に関するものはなく、現在のところ市独自で新たに設定した箇所の自動車騒音測定を行う考えはない。今後、そういった騒音が寄せられるような状況になった際に別途検討をする。</p>
金田委員	<p>7大公害相談受付件数の騒音について、令和2年度で22件の相談が寄せられているが、自動車騒音に係るものは何件あるのか。</p>
事務局	<p>昨年度寄せられた、騒音に関する公害相談のうち通行する自動車の騒音に係るものはなかった。</p>
斉藤委員	<p>クビアカツヤカミキリについて、昨年度実施した樹幹注入後の経過観察や効果検証については行っているのか。</p> <p>また、薬剤の効果については1年程度であるため、今後も引き続き必要な箇所に樹幹注入を行う必要がある。</p>
事務局	<p>当該場所の管理者である道路公園課により行われている。</p> <p>また、樹幹注入については適宜実施する。</p>

松井委員	令和3年度の環境学習の開催実績について、参加者の延べ人数が大変多いが、どのように実施したのか。
事務局	埼玉県環境学習応援隊を活用し、メニュー表の中から各学校が選択をして行ったものである。参加者が多い理由としては、各学校の4年生が全員参加しているためこのような結果となっている。
金田委員	令和3年度の環境学習の開催実績について、中曽根小学校が2回実施したとなっているが、中曽根小学校が2回の開催を希望したということか。
事務局	その通りである。実施回数や選択するメニューについては各学校においての選択となっている。
秋元委員	資料「吉川市の環境」に関する報告は、環境基本計画の進行管理のための報告という認識でよいか。
事務局	昨年度策定した環境保全指針の具体的な行動計画である「環境行動計画」については、現在、庁内検討委員会での検討や各課との調整を重ねているところである。その中で具体的な指標を定める予定である。今回の報告については、それとは別に市の環境に関する測定結果などを環境審議会委員の皆様と共有するための報告である。
秋元委員	市内における単独処理浄化槽と合併処理浄化槽の設置割合はどの程度か。 また、より一層の転換促進の為になにか検討している施策はあるか。
事務局	今後新たに単独浄化槽が増加することはない、合併浄化槽への転換や、新設により合併浄化槽が占める割合が増える一方であるが、現在その割合は概ね半々の状況である。 転換促進については現在、国と県の補助金を活用しながら浄化槽の転換に対し補助金を交付している。しかしながら、補助額は転換費用の半分程度となっており、市民には一定の財政負担が生じており、転換が大きく進まない要因の1つとなっていると考える。このことについては当市だけでなく、全市町村の共通の課題であると認識している。
秋元委員	浄化槽区域に対して公共下水道を敷設する計画はあるか。
事務局	新たに公共下水道区域を拡大する計画はない。公共下水道は公営企業

<p>浜本会長</p> <p>3 閉 会 柏瀬副会長</p> <p>事務局</p>	<p>としてその経費を使用料で賄う必要があるが、市街化調整区域のような人口密度の低い地域では実現が難しい。</p> <p>————— 《議事審議》 —————</p> <p>(2) その他 議題について、事務局より説明をいただく。</p> <p>【事務局資料説明】 ・環境行動計画の策定経過の報告について</p> <p>————— 《副会長挨拶》 —————</p> <p>活発な議論ができ、協力に感謝する。緊急事態宣言が解除され、飲食店の営業の制限等も緩和された。本日出席されている各委員もマスクを着用しているが、第6波の可能性についても報道等で耳にする。今後、各自注意をしていただきながらそれぞれの活動に励んでもらいたい。</p> <p>————— 《閉 会》 —————</p> <p>以上で本日の審議会の内容はすべて終了した。これをもって、令和3年度第1回吉川市環境審議会を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和3年11月 8日</p> <p>署名委員 大泉 日出男 (自署) 署名委員 松井 美枝子 (自署)</p>	